

令和7年度与進小学校 「学校評価アンケート」結果について 別紙



「そう思う」「まあそう思う」の割合を足したものを学年ごとに行ってみました。発達段階に応じた対策を考えていきましょう。

※アンケート集計の平均は、(4 とてもそう思う 3 まあそう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない)の評価を4点満点で平均した数値になっています。最高4点 最低1点
各学年の数字は、4つの評価を(4 とてもそう思う 3 まあそう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない)%で表した数字です。

jkaNo	児童	R7.7		保護者	R6.12		教員	R7.7	
		今回	前回		今回	今回		今回	前回
1	楽しく学校に通うことができた。	3.58	3.54	お子さんは、楽しく学校に通っている。	3.19	3.31	子供は、楽しく学校に通っている。	3.34	3.42
2	目標に向かって行動することができた。	3.39	3.40	お子さんは目標(志)をもって行動できる。	2.84	2.86	子供は夢や目標(志)を持つことができた。	3.21	3.09
3	友達と協力して活動に取り組むことができた。	3.56	3.58	お子さんは、他人と協力して行動ができています。	3.14	3.20	子供は、友達と協力して活動に取り組むことができた。	3.32	3.44
4	何事にもねばり強く取り組むことができた。	3.43	3.43	お子さんは、失敗を恐れず、挑戦し続けることができる。	2.69	2.77	子供は、何事にもねばり強く取り組むことができた。	2.95	2.98
5	自分にはよいところがある。	3.30	3.26	お子さんは、自分のことを大切にしている。	3.19	3.28	子供は、自分のことを大切にしている。	3.26	3.30
6	あいさつがよくなった。	3.41	3.39	お子さんは、あいさつをよくする。	2.91	2.98	子供は、あいさつがよくできている。	3.11	3.16
7	ふわふわ言葉を使うことができた。	3.35	3.31				子供はふわふわ言葉を使うことができています。	2.95	2.81
8	静かに廊下を歩くことができた。	3.26	3.20				子供は静かに廊下を歩くことができています。	2.53	2.51
9	よいと思うことは、自分で進んで行動できる。	3.36	3.36	お子さんは、言われる(指示される)前に、行動することができている。	2.43	2.50	子供は、自ら考え行動することができている。	2.61	2.72
10	授業が楽しいと感じている。	3.42	3.43	お子さんは、授業を楽しんでいると感じている。	2.87	2.91	子供は、授業を楽しんでいると感じている。	3.13	3.12
11	授業の内容がよくわかる。	3.39	3.41	お子さんは、授業がよくわかると感じている。	2.79	2.92	子供は、わかると実感していると感じる。	3.00	3.05
12	自分の思いや考えを、相手や仲間きちんと言葉で伝えることができた。	3.31	3.28	お子さんは、自分の思いや考えを、相手や仲間きちんと言葉で伝えることができています。	2.76	2.83	子供は、自分の思いや考えを、相手や仲間きちんと言葉で伝えることができています。	2.79	2.81
13							子供は、温かい聴き方・優しい話し方ができている。	3.03	3.07
14	自分が決めたためあてや約束に沿って家庭学習ができています。	3.35	3.39	お子さんは、自分が決めたためあてや約束に沿って家庭学習ができています。	2.76	2.72	子供は自分が決めたためあてや学習の約束に沿って家庭学習ができています。	2.87	2.95
15	自分や友達の安全に気を付けて生活できた。	3.52	3.54	お子さんは、自分や友達の安全に気を付けて生活できています。	3.20	3.14	子供は、自分や友達の安全に気を付けて生活できています。	2.89	2.95
16	学校は、自分を大切にしてくれると感じる。	3.60	3.56	学校は、お子さんを大切にしていると感じる。	3.15	3.21	一人一人を大切に、個に応じた支援ができています。	3.29	3.28
17	先生は、自分を認め、励ましてくれる。	3.63	3.59	学校は、お子さんを「認める」「励ます」「ほめる」してくれると感じる。	3.07	3.16	「認める」「励ます」「ほめる」ことを積極的にしました。	3.47	3.47
18	友達は、自分を認め、励ましてくれる。	3.58	3.61				学級には認め励まし合う空気感がある。	3.32	3.40
19	学校・学級は、失敗しても大丈夫な雰囲気がある。	3.46	3.46	学校・学級は、仲間の失敗を温かく受け止められる雰囲気になっている。	2.98	3.04	失敗を温かく受け止めてくれる学級の雰囲気になっている。	3.29	3.30
20	先生に、相談しやすい。	3.57	3.50	お子さんのことについて学校は、相談しやすい。	2.97	3.02	保護者や子供が相談しやすい環境を作っている。	3.34	3.26
21	学校は、安心できる場所になっている。	3.51	3.52	学校は、いじめを許さない安心できる場所になっている。	2.92	2.94	いじめのない学校づくりへの取り組みにより、学校は子供が安心できる場所になっている。	3.26	3.30
22				学校は、情報を積極的に発信している。	3.05	2.97	積極的に情報発信を行うことができた。	2.95	3.09
23				学校は、保護者や地域の願いや考えを受け止めながら教育活動にあたっている。	3.00	2.97	保護者や地域の願いや考えを意識して、教育活動にあたっている。	3.32	3.28
24	学年や学級が目指している目標(一員として自分がやるべきこと)を知っている。	3.55	3.59	学年や学級の目指す姿が家庭にも伝わっている。	2.84	2.83	学年・学級目標を子供や保護者と共有している。	3.24	3.12

【学校評価アンケート考察】

児童の前期と後期を比較すると、「友達と協力して活動に取り組むことができた」や「友達は自分を認め、励ましてくれる」の項目が向上した。2学期の行事や日々の授業を通じて、子供たちが「目標をもち、仲間と協力してやり抜く」という成功体験を積み重ねてきたことにより、認め合い、励まし合う温かな集団作りができたと感じる。そのことが、児童にとって学校生活における高い満足感と安心感の高さにつながった。また、学習面において、「授業が楽しい」や「授業の内容がよく分かる」の数値が上がり、学習意欲の向上も見られる。全学年を通して『聴く・話す』の学習習慣が定着した手応えを職員間で共有している。今後、学力の定着に向けて、教員の研修もさらに深めていく。

保護者については、昨年度と比較して、「お子さんは、楽しく学校に通っている」「学級には認め励まし合う空気感がある」の項目が向上していることから、安心できる居場所となっていることや認め合う空気感の広がりを御家庭で感じ取っていると考えられる。

課題としては、保護者の「言われる(指示される)前に自分で行動できる」が、全項目の中で最も低い水準にとどまっている。学校で見せる前向きな姿を、家庭や地域でも「自ら考え、行動する姿」として発揮できるよう、子供たちの自信を確かな主体性へと引き上げていく取り組みが必要である。そのためには、児童の自己肯定感の向上が必要である。引き続き、学校生活の様々な場面で、すべての教職員が児童一人

一人を大切にし、児童が自信をもって活動できる機会(役割や出番)を増やし、温かな声掛けや支援をしていく。

児童「学校は、安心できる場所になっている。」保護者「学校は、いじめを許さない安心できる場所になっている。」教員「いじめのない学校づくりへの取り組みにより、学校は子供が安心できる場所になっている。」の数値が上がっている。今後も、学校に携わる皆様の思いを大切にしながら、友達と仲良く、楽しく安心して生活できる学級づくり、学校づくりを進めていけるよう、職員一丸となって教育活動にあたっていく。